



秘奥

最終章

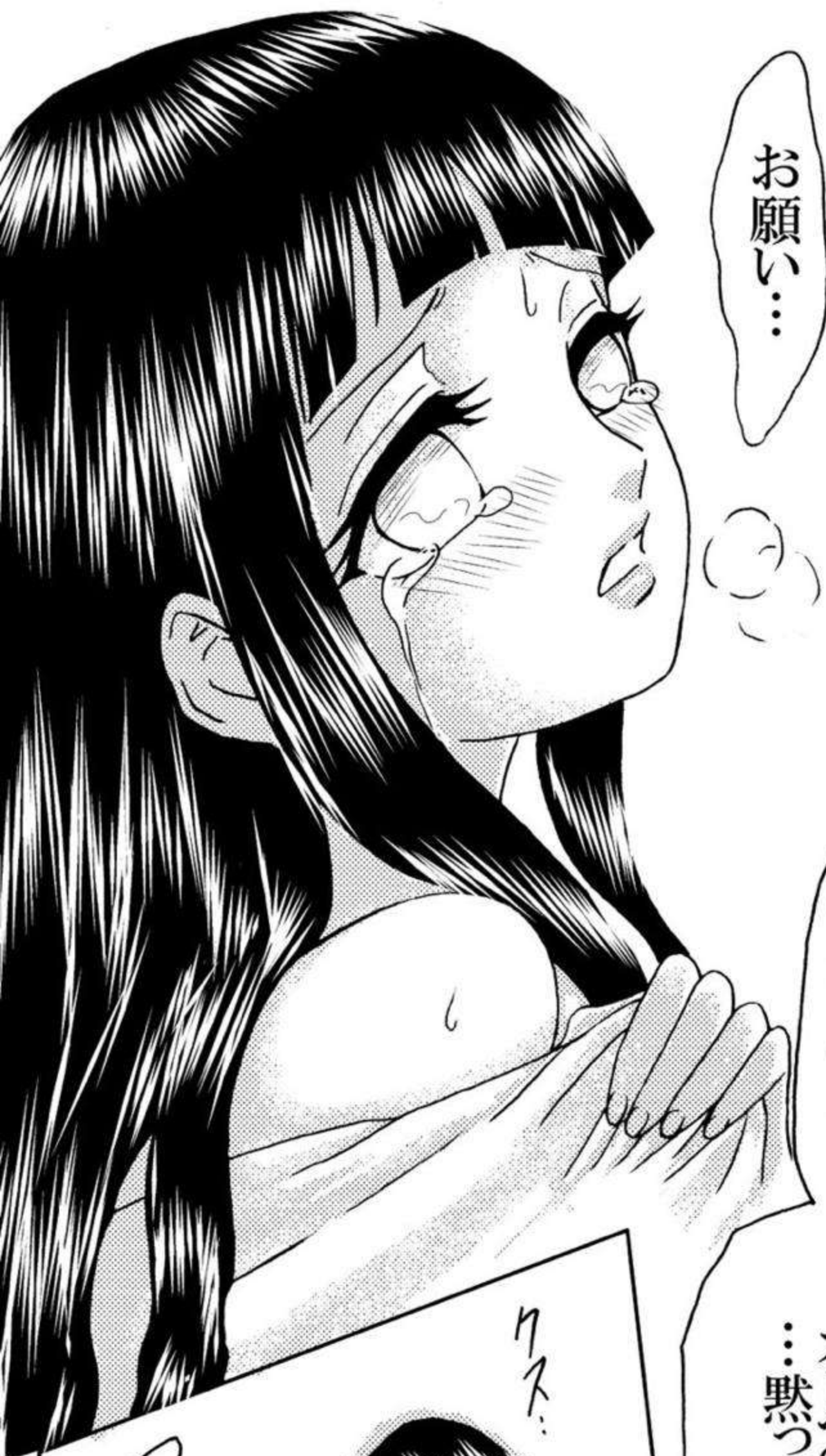
成人向



秘奥

最終章

成人向



お願い…



ネジ兄さん
も…やめて…

こんなと…

駄目だ！
コレは非力な宗家に
仕えてやっている

オレへの報酬だ…
…黙って抱かれる

あつ

さあ
始めようか











ザッ
ザッ
ザッ

んっ

んっ
んっ

ザッ
ザッ
ザッ

んあああ

ッ

ガッ
ッ

ガッ
ッ



ああッ

あああ...



ヒナタツ



あつ...ああん



ん…

るほ…

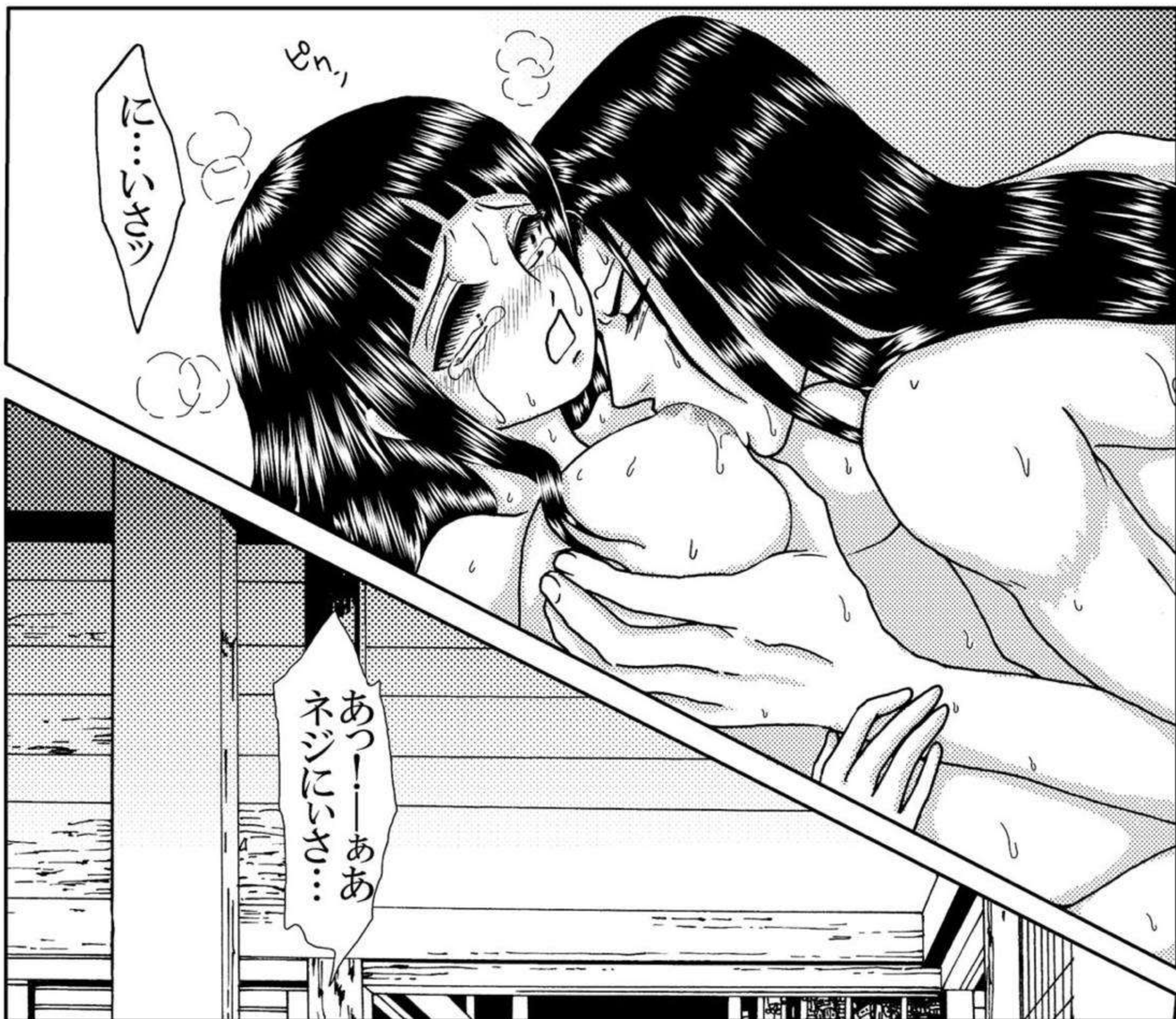
あ…

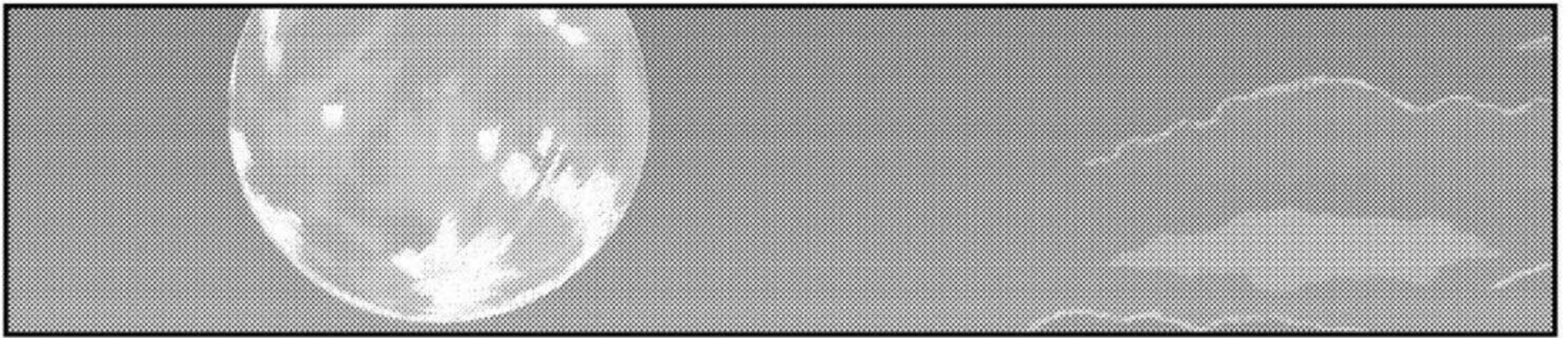
ああ…ん

朝までだ

ふっ
まだ終わらないぞう？

逆らうことは
許さない





ヒアイン様が
存命ならば
お前が
ヒナタ様の婿に選ば
れていただろろうしな

コウ、お前は
ヒナタ様の守り役だった
その気持ちは
人一倍だろろう



ヒナタ様を
なんとしても
お救いしたい
のだ

.....
私は一生
ヒナタ様に
お仕えする
と決めた



トクマ殿
ソウマ殿

一族の中でも
最強クラスの
お二人に力を
貸して頂きたい

協力願えるか？



：日向一族宗主
ヒアイン様亡き後
一族をまとめた
分家頭ネジの
実力は認めよう：

だが新宗主である
ヒナタ様を奥に
軟禁し、ないがしろに
していることは許せない！

ヒナタ様が
あまりにも哀れだ...

もちろんんだ
コウ
力になろう

ただ
問題は
ネジの能力だ

本当なのか？
奴が…


…ああ

伝説の眼を
持っている

きんおうびやくがん
”金甌白眼“


日向一族に伝わる
究極の眼
万物を操り支配する
完全無欠の王の眼

六道仙人と対を成すと
言われている
その伝説の眼を
ネジは開眼していた—



私はネジに操られ
心にもない事を
ヒナタ様の前で
言わされ：
その場から
逃げ出すよう
体まで支配された

幻術より確実に
呪印のような痕を
残さず強固な支配を
瞬時にしてみせる…
まさに脅威—



：おそらくは
大名様も長老衆も
ネジに操られ
火影と同等の権力を
奴に与えたのだらう…
私達はそんな強大な
相手を倒さねば
ならない…

ネジの金甌白眼の
弱点を探し出さねば
勝ち目はないだらう



森の外れに住んでいる

まやかしかしばかり口にするからと誰からも相手にされてないが...



よし！伝説には伝説だよ？

一族でそういう伝説や伝承に詳しい婆さんを知ってるぜ



よう来たのうぬしらのような若者がめずらしいわしの言うことに耳を貸す者などもう今ではおらぬと思つたが...

婆さんに聞きたい事があつてな実は一族に金甌白眼を持つ者が現れたんだよ信じるかい？

ああ、それは当然の事だからの事

?!!

百年に一度生まれるんじやよ



だが...一度としてその瞳を保ち天寿をまつとうした金甌はおらぬ...

例外なく全ての金甌は早死にじや

早死に?...なぜですか？

喰われる
からじゃよ

!!

魔獣がな…
金甌を喰いに
異界より
現れる

それから
逃れる術はない

…いや…
ひとつだけあったか

身代りをな
たてるのじゃ…
金甌と精を
交わらせた相手を
生贄として
魔獣に喰らわせる
方法じゃがな…

!

婆様?

あつ!
婆さんは
半分正気
じゃない
発作だ!

発作だど?
肝心な所で

仕方ねえよ
これだから
色々知ってる
のに見逃され
て来たんだろ

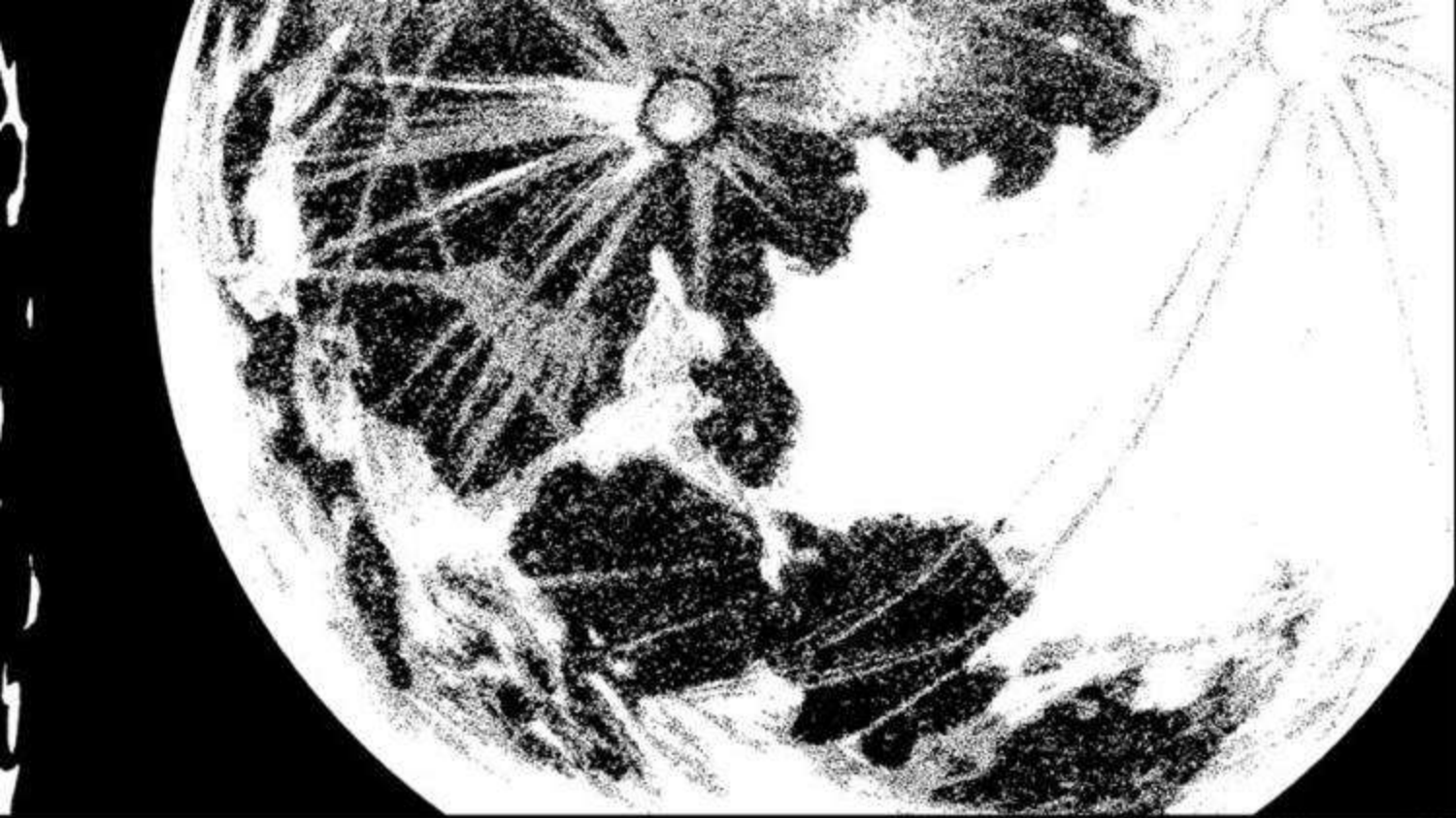
コ、コウ!
まさかネジは
ヒナタ様を
身代りに?

ば、婆様!
その魔獣は
いつ現れる
のですか?
身代りを
救う方法は?

喰われるぞ♪
喰われるぞ♪

ふおつ
ふおつほほ

しかし



赤い月がでるう♪
今夜か？今夜かな？
来るぞ来るぞ
魔獣が来るぞお♪

ゴウゴウゴウ

本当かよ？
婆さん！

ヒナ夕様！

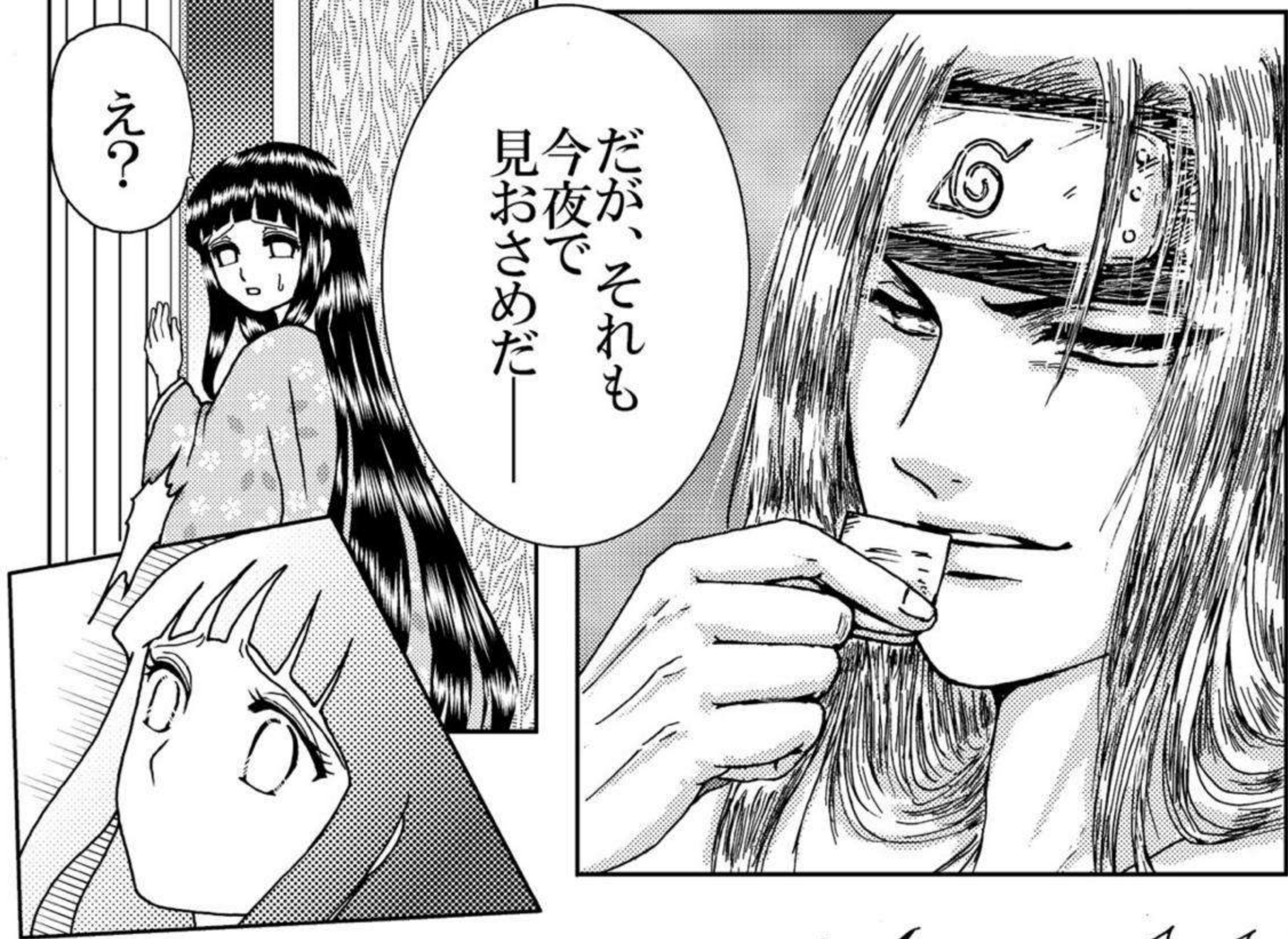


なんて禍々しい
赤い月なのかしら…



フン…
月にさえ
怯え震えるとは

相変わらず
情けない人だな…



痺^{しようき}気で
か、体が
動かない！

?!!

これでは
柔拳が
使えない

はっ
ネジ
兄さん？

笑ってる？

？

「ムンムン」



ネジ兄さん

キキキ
あああ
あ

柔拳!

カ
カ
カ

ヒナタ様
ここは
我らに
まかせて
早く!

ココウ?

ザッ

ザッ

ぞ

!

カ
カ
カ

ヒツ、ヒナタ様!
早くお逃げ下さい
ネジはヒナタ様を
利用する気です!

その魔獣から
逃れる術は無い—

え…?

自分の身代りに
ヒナタ様を魔獣に
喰わせようとしてるんだっ!

なんだこれは！
動くと体が焼けるッ

ヒナタ様ッ

馬鹿！
下手に動くな
コウ！！

うあああッ

…ふん、大人しく
してればいいのに

?!

傷口が
癒えていく？
…まさか？！

ネジ？

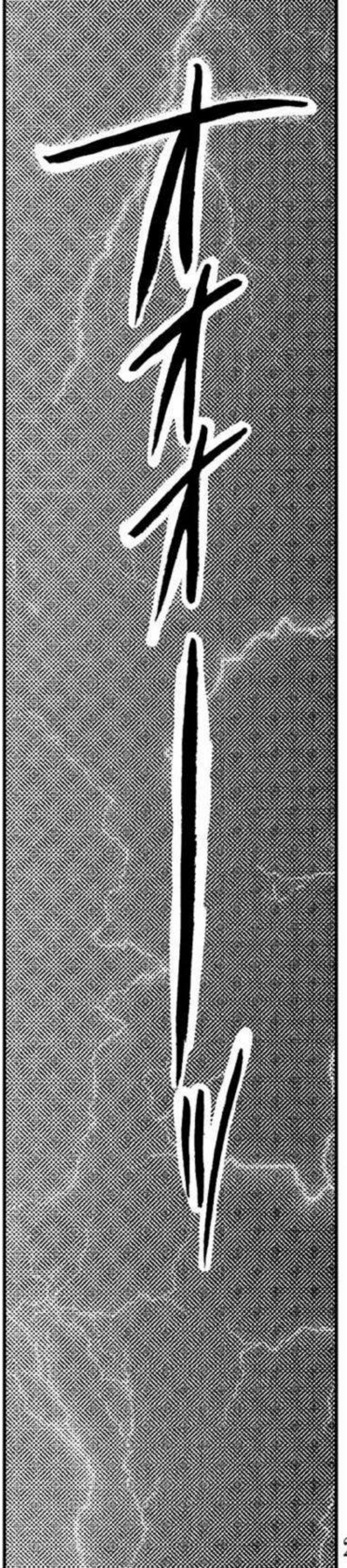
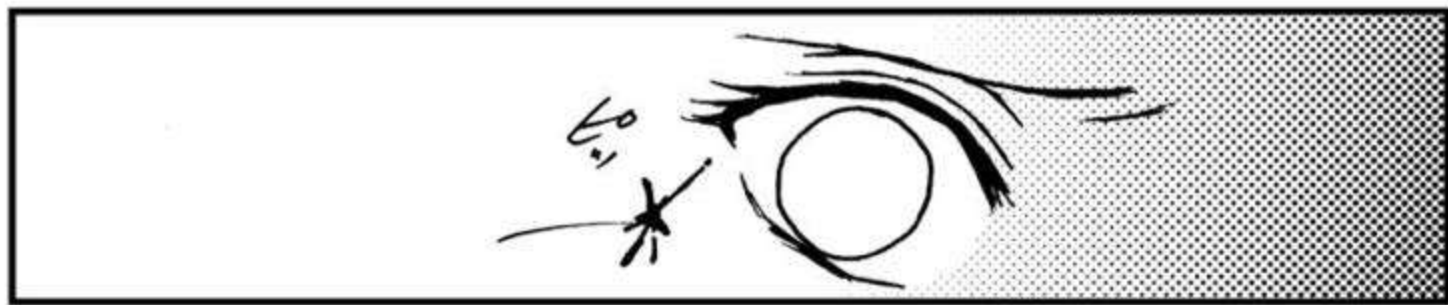
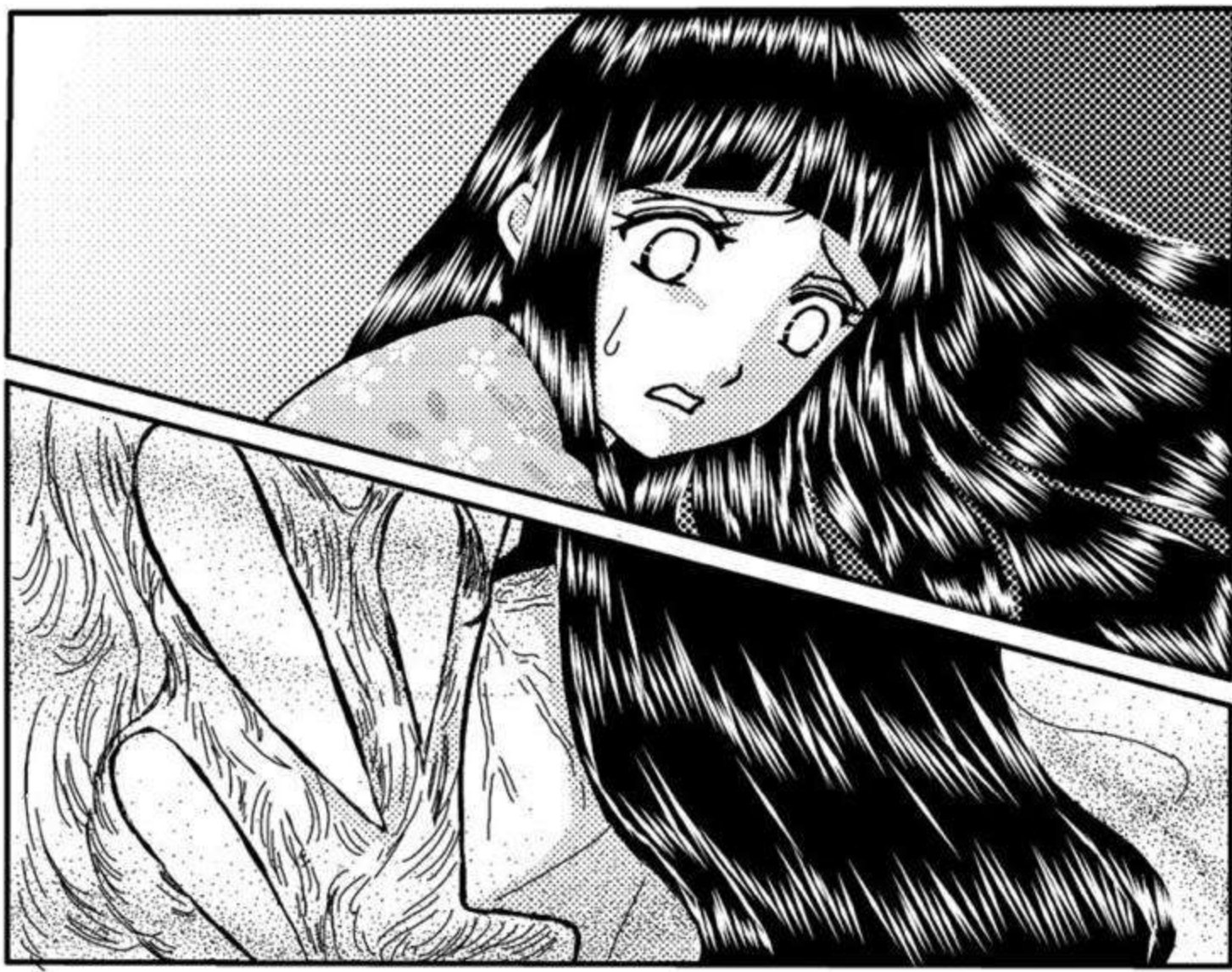
ぞろ



お前の金甌きんおうは
このオレだ！
化け物め！

さあー！この身を
喰らうがいい！

う



ヒアシ様

—では
引き受けて
くれるのだな？
ネジ…

…私は、じき死ぬ…
何もかも、お前に
背負わすこと—

はい

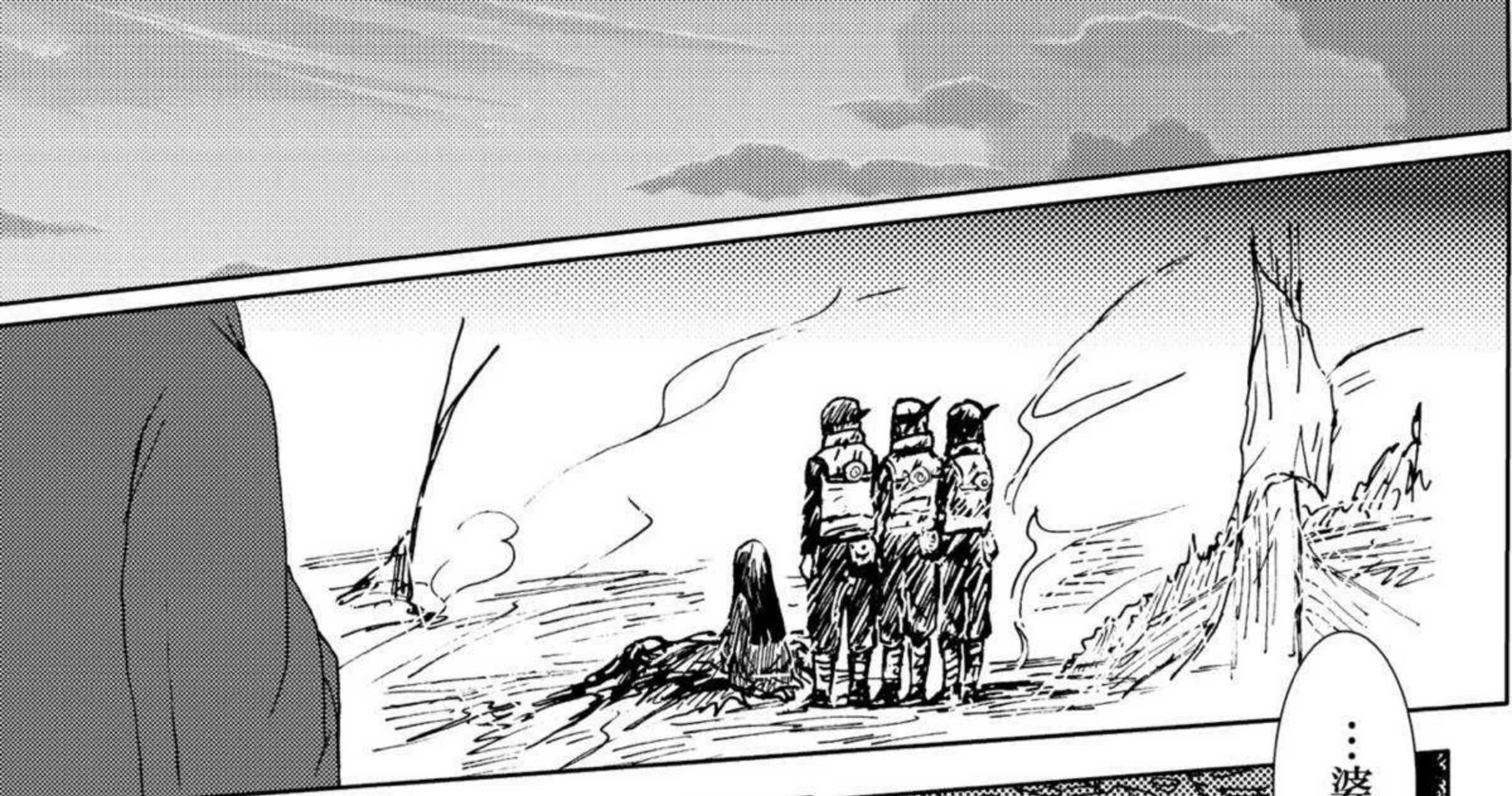
—ヒナタを犯せ—

許せ！
…ネジ

ヒアシ様…

…ネジ、お前にこれから
金甌白眼が宿つたと
みせかける術を施す…
お前は急ぎ封印の祠に行き
契約を交わし、あれを
その身に宿すのだ…

そうして
あれがその身に
馴染んだら…



…婆様

…魔獣は
去つたようじゃの
すべてはヒアシ様の
計画通り——

ネジこそが
身代りだつたのじゃ
まやかしの金甌白眼で
魔獣から
真の金甌を守つた——

真の金甌はヒナタ様…
ヒアシ様がそれを隠し
その死後はネジが受け継ぎ
守り続けてきたのじゃ…
日向の至宝を、な——



ネジ兄さんっ

すべては
私のため
だったなんて！

泣く…な…

ヒ…ナタ…



オレが死ぬ…ば…
幸せ…に…なれ…る

泣くことが…
あるか…っ

…本当は、ずっと…
笑顔が…見たかった…
最後の…願いだ
…ヒナター



オレに…微笑んで
…くれないか？



オレが死んでも
苦しまないように…

ネジ兄さん？

冷酷な男を演じて…
ただあなたの幸せを
願ってオレは—

だだ…
だめ…だめっ

逝かないで…っ
ネジ兄さん！

ネジ兄さん？



神

なつ
何をやる気じゃ？



ヒナ夕様！



ごめんなさい
私のために
こんな……っ

ごめんなさい
ネジ兄さん！

よすのじゃ！
死者の再生は
禁術じゃ！
例え金甌でも
それを犯せば
ヒナタ様……っ

ぬしは永遠に
金甌白眼を
失うのじゃぞ？

ヒナタ様！
婆様の言うとおりで
その眼は日向の至宝！
ヒアシ様とネジの遺志を
無駄にするつもりですか？

黙りなさい！

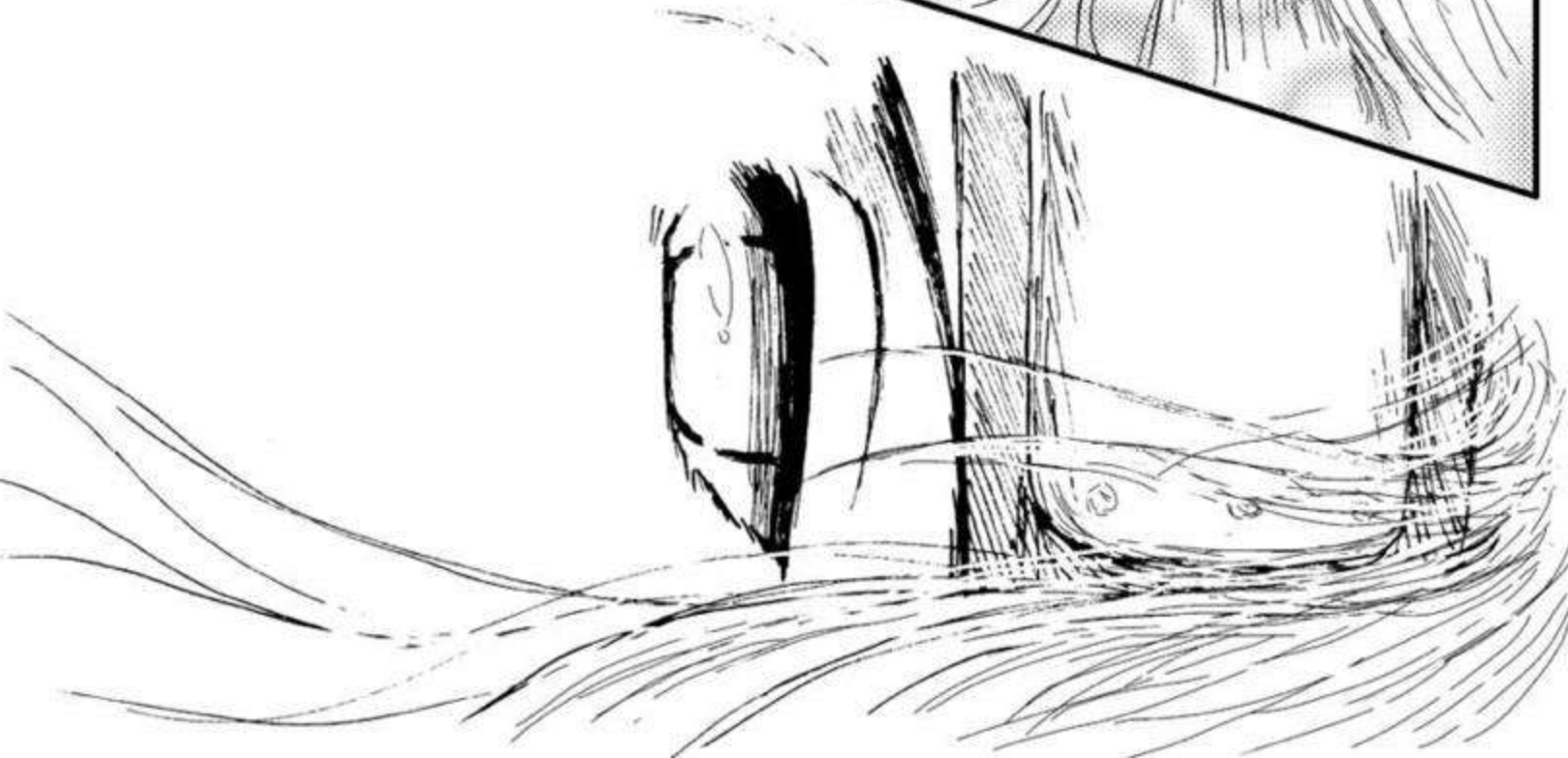
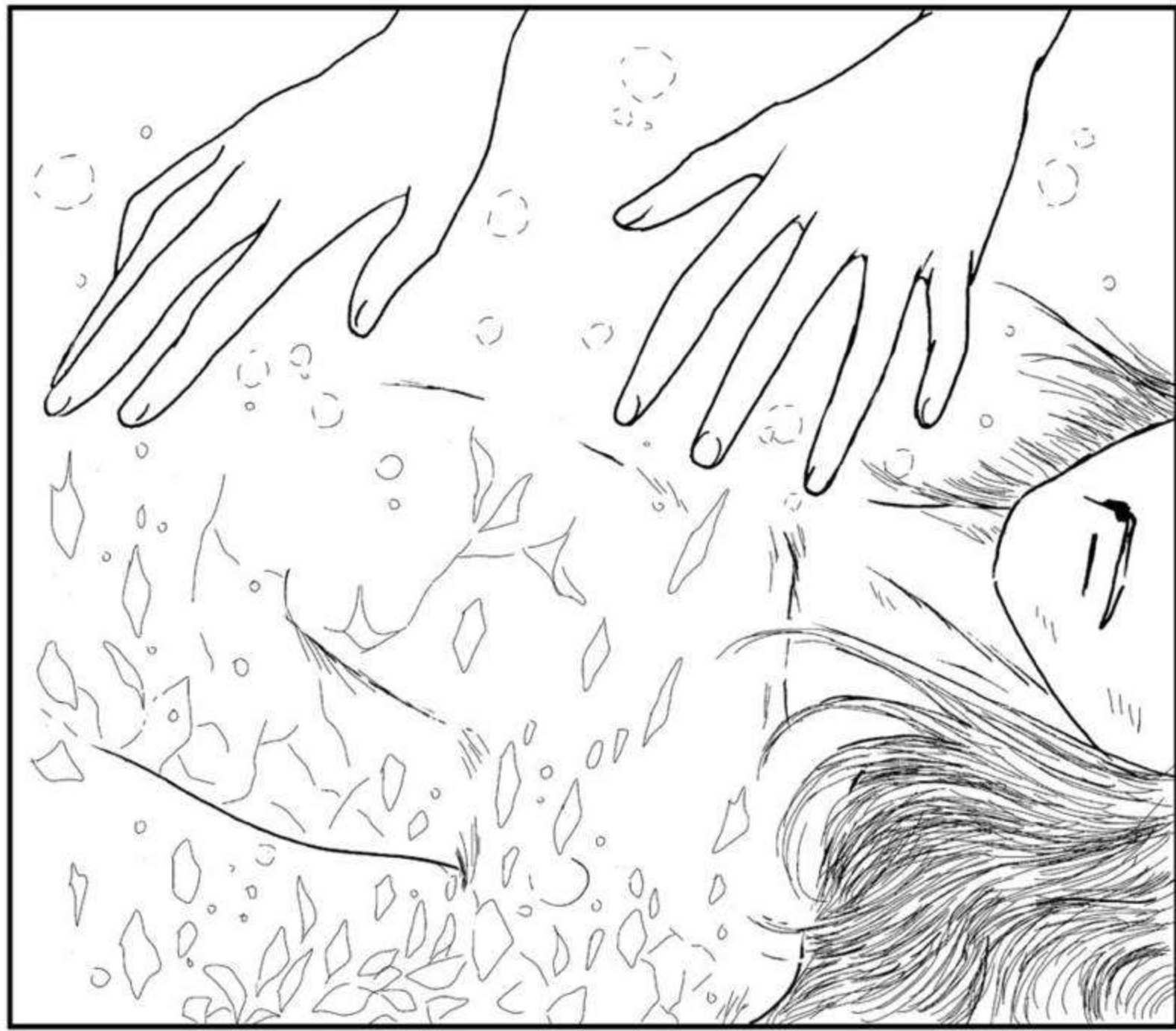
許してね……
これだけは
ゆずれない

ギョッ

わ、わたし……
ネジ兄さんを
愛してるの——

ヒナタ様……

……
……ごめんね……コウ
もう二度と我儘
言わない……から……



—愛しているの—



お前の命と引き換えに
ヒナタ様は金甌白眼を
捨て、白眼能力までも
禁術で失ったのじゃぞ

お前は
幸せ者じゃな
ネジよ

よか…っ…たあ…
よかった…!!

ごめん
なさ…っ
でも私…

ネジ兄さん…っ

ネジ兄さんが
私のために死ぬなんていや!
こ、この眼を失ってもいいっ
生き返って欲しかったの…!!



だっ

ば…かつ…

だって私…分かってたもの
こ、心の底ではずつと—
ネ…ジ兄さんも…
私を愛してくれてるって…

わ、分かって…
いたもの…



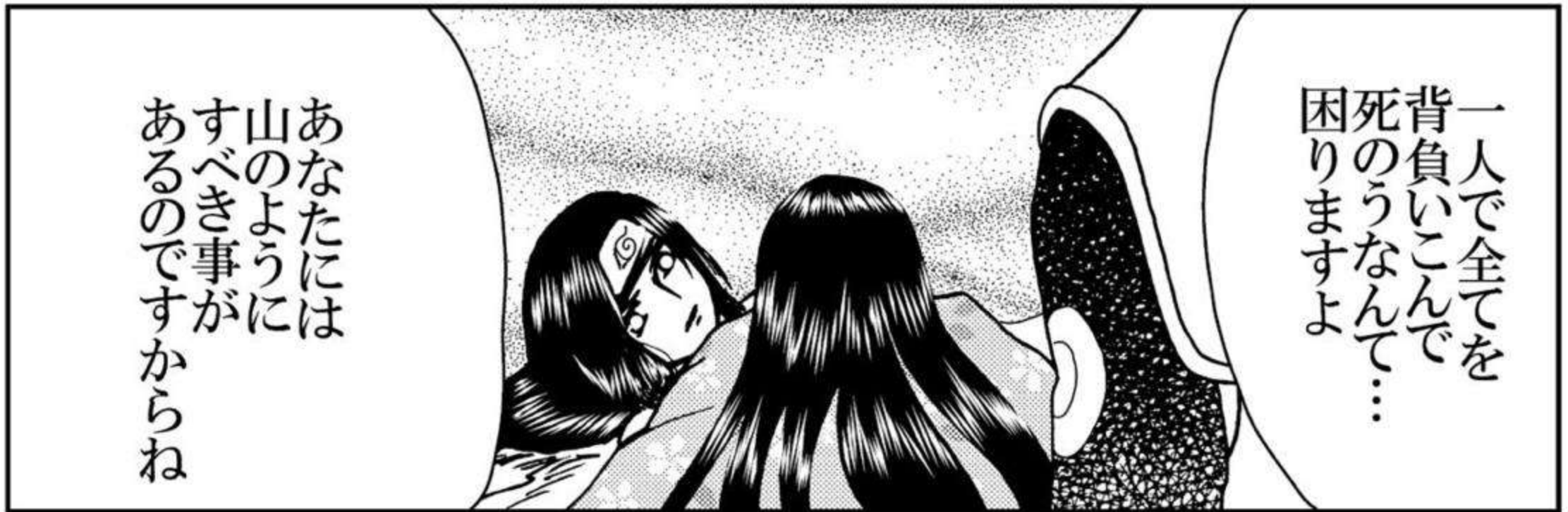
…

馬鹿だ！
あなたは…



あんなに…
酷いことを—
ずつとオレは
傷つけてきたのに…

男として最低の事を
あなたに強要してきたのに…
そんな男のために…
ば、馬鹿だ！あなたは…



うるさい長老衆には
ネジ殿が金甌だと
このまま騙し続けて
掟を変えるのです

いどこでも結婚出来るように
…可能でしょう？ネジ殿
そして白眼が使えなくなった
ヒナタ様が宗主でいられるように
夫として生涯彼女を守るのです—

オレを許して
くれるのか？

…すべては
ヒナタ様の
為だった…

感謝してますよ
ネジ殿…

あなたは
ヒナタ様の
命の恩人だ

妹のように
大切な…
ヒナタ様の—

ヒアシ様
これで安心して
逝けますなあ…

良き者に恵まれて
貴方様は幸せじゃ…

…悪いな…
又、お前を封印する

ああ…
かまわんさ
わかつていた
ことだ

私は異形の
金甌—
そちらの
世界に
存在すべき
じゃない

あの娘は
金甌を捨てて
良かつた
過ぎた力は
身を滅ぼす…

私もかつて
あの方法で
生き延びた
が…結局
異形の者に
なつてしま
いに封印
された…

百年に一度
生まれる金甌の
ために…
身代りの者に
金甌の力を与え
代償に望みを
叶えるのが
仕事になつた



だが：
大抵は私の力に
負けてしまい
私を取り込む
ことが出来ず
身代りになれた
人間は
いなかった……

ネジ：お前は
特別だ—魔獣に
喰われた時でさえ
即死せず
今この時でさえ
金甌の名残りを
その身に宿してる
……まさに天才だな

—欲しいものは
手に入れられたか—？

運が良かっただけだ

オレは
天才じゃない
ただの男だ

……ネジ……

……ああ



—手に入れたよ

愛する人の笑顔をな—

ネジ：お前が
私の力に負けず
ヒナタの身代りに
なれたのは



その娘を
心から愛して
いたからだろうー



ヒアシンはそれを
見抜いていた
だから
お前に託したのだー

ヒナタが金甌白眼を
失おうとも
ヒアシンは責めまい…
お前たちの幸せを
なによりあの男は
望んでいただけだろうからー







愛しているよ
オレのヒナタ…

あ…

恥ずかしくくないよ
…優しくする…

これからは
心も体も…

とても
愛してる…



あ…んっ
ネ…ジ兄さん…
わ、わたしも

あっあっ…
わ、わたしも
す、好き…

ヒナタ…

ハア
ハア

ハア…



ヒナタ
ヒナ...

あ
あ
あ

あ

ハ

ハ

ハ
あ
あ
あ

ハ

ハ

ハ

ハ



やあ...ん
だ、だめえーっ

ああ

ああっ

ハア

ハア

ハア

ハア

ネジに...いら...
ちやうよお...

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ



ああ…
ネジ兄さん

はあ

ひやあーッ

好きだよ
ヒナタ…

あッ

あ…あーッ

ここ…擦ると
気持ちいいだろ…



ああん

あッ…

ネ…ジ
にいさあッ

ガッ
ガッ
ガッ



ハア
好きだよ
ヒナタ:

ハア

あつあつ
ネジ兄さんッ

ハア

わ、私...もっ

ズググ

ズググ

ズググ

あ...ッ

ハア...



数年後

：コウ、俺の息子を頼みたい
守り役を受けてくれないか？

私でよければ喜んで—

コ…



ああ、
やはり
コウは
ヒアシ様が
見込んだ
男だけ
あるな

あなた…
人見知りの
激しい
あの子が
あんなに
懐いて…

忠はコウに――

愛はネジに――

幸せにして
やつてくれ――

私の大切な娘を……



なんだか
寂しいですね……
あの子
コウにべつたり
なりそうなん
ですもの……

寂しいなら
もう一人
作ろうか？

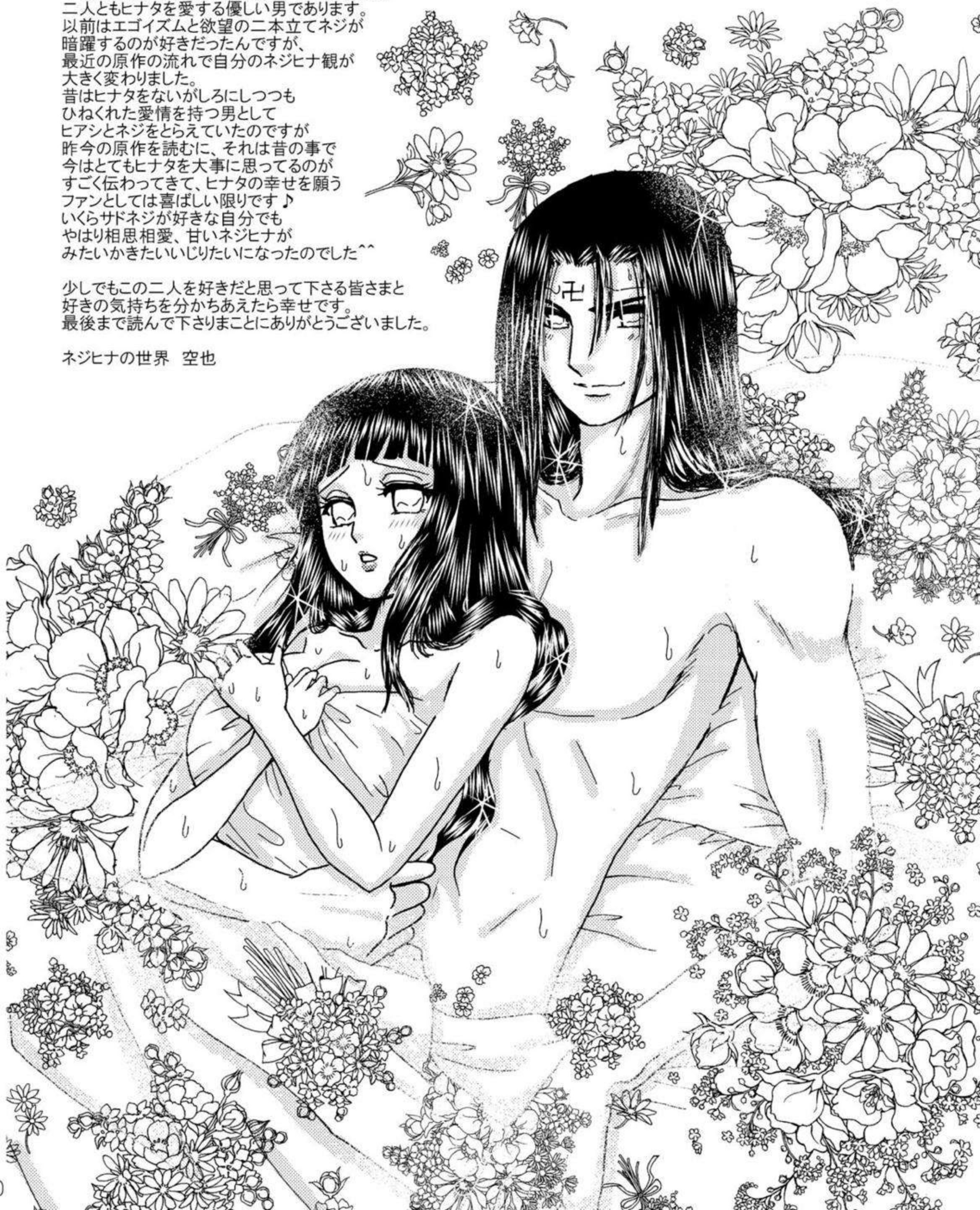
ヒナタが
望むなら
なんでも
してやるぞ？

――我が心の奥に
秘められしは愛――

あとがき
前作「秘奥～ひおう～」の完結編
いかがでしたでしょうか？
里全体を巻き込む大河ドラマには
出来ませんでした、終わりよければ
全てよしの方で決めてみました。
闇に咲く花、狂愛、狂恋などの当サークル
作品を通しては、ヒアシもネジも真黒い
サドなのですが、秘奥に関しては
やり方は乱暴ですが、根底はヒナタを守るため、
二人ともヒナタを愛する優しい男であります。
以前はエゴイズムと欲望の二本立てネジが
暗躍するのが好きだったんですが、
最近の原作の流れで自分のネジヒナ観が
大きく変わりました。
昔はヒナタをないがしろにしつつも
ひねくれた愛情を持つ男として
ヒアシとネジをとらえていたのですが
昨今の原作を読むに、それは昔の事で
今はとてもヒナタを大事に思ってるのが
すごく伝わってきて、ヒナタの幸せを願う
ファンとしては喜ばしい限りです♪
いくらサドネジが好きな自分でも
やはり相思相愛、甘いネジヒナが
みたいかきたいいじりたいになったのでした^^

少しでもこの二人を好きだと思って下さる皆さまと
好きの気持ちを分かちあえたら幸せです。
最後まで読んで下さりまことにありがとうございました。

ネジヒナの世界 空也





ネジヒナの世界 空也